

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月21日

派遣決定番号 K127

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	塩尻市役所	代表者名	小口 利幸
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	0263-52-0280
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	mo1107@city.shiojiri.lg.jp
住所	3990786 長野県塩尻市7-3-3		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	崎山 雅子
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	実例を踏まえて、お話をお聞きすることができ、自分たちだけの課題ではなく、どこの共同化にも起こりうる課題があり、それをどのように対応する必要があるかといった部分が理解できた。 ベンダーの対応、担当課の反応、情報部門の役割等、あるあるな中身がよく分かった。
アドバイザーへの要望事項	大変ためになり非常にありがたかった。 欲を言えば、来年度もお話をお聞きしたいと思うくらいです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年2月19日	13時30分	16時30分		180
3-2. 派遣場所	会場名	塩尻市役所		最寄駅	塩尻駅
	所在地	塩尻市大門七番町3番3号			
	最寄駅からの交通手段	タクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果		
5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員、組合事務局、バンダー	11人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	事業導入に向けて、システム提供事業者側の意識と自治体担当者の意識のすり合わせや、今後起きるであろう要件調整などの課題	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	実例により、システム提供事業者との会議の進め方や、心構え、実際に起きていて事例などの紹介により、迅速により良いものの導入を目指す	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	業務標準化の手順 自治体クラウドの成果 検討の視点 稼働までのやるべきこと システム稼働までにやるべき様々な事例を享受いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	特に要件定義を進めるうえで、情報担当者がやるべき事と担当課がやるべき事の区分がわかった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	今回いただいた内容を踏まえて、要件定義を行い、システム稼働に向けて作業を実施していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	直接解決に向けたお話を伺い、アンケートを取る必要がない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	年度末に向けて、要件定義を実施し、令和3年1月稼働を目指す。	

なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

